

病害虫 防除だより

No. 361

令和4年7月8日

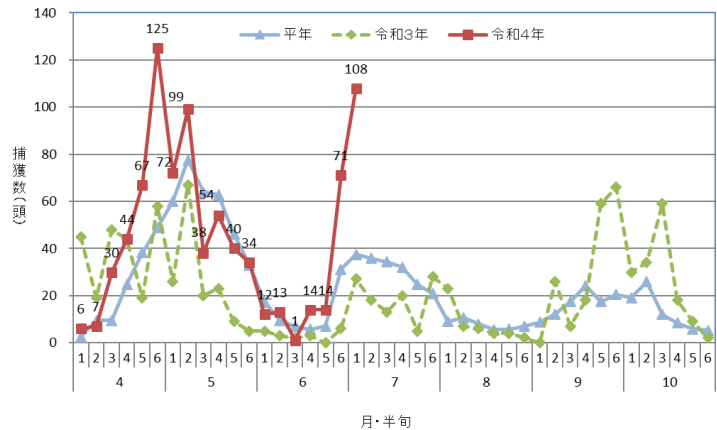
ネキリムシ類（カブラヤガ）の多発生に注意！

ネキリムシ類（カブラヤガ）は野菜等の苗の茎や、新芽を食害する害虫です。

農業試験場のフェロモントラップでのカブラヤガの誘殺数が6月6半旬から急激に増加しています。野菜等の播種・定植を予定している場合は、防除を徹底して下さい。

1. 本年の発生状況

本年7月1半旬のカブラヤガのフェロモントラップ誘殺数は平年の3倍近くと非常に多くなっている。7月に二世代幼虫が多発生し、播種・定植直後の作物に対して被害が多くなると思われる。



2. 主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
キャベツ	ネキリエースK	土壌表面株元処理 3 kg/10a	は種時又は定植時	1回
	カルホス粉剤	土壌表面散布土壌混和处理 6 kg/10a	は種時又は植付時	
	ダイアジノン粒剤3	土壌混和 6～9 kg/10a	収穫 30 日前まで	2回以内
	デナポン5%ベイト	株元散布 3～6 kg/10a	収穫 14 日前まで	3回以内
ネギ	ネキリエースK	土壌表面株元処理 3 kg/10a	収穫 30 日前まで	2回以内
	カルホス粉剤	土壌表面散布土壌混和处理 6 kg/10a	は種時又は植付時	
	フォース粒剤	作条土壌混和 4～9 kg/10a	定植時	1回
	ガードベイトA	株元散布 3 kg/10a	生育初期	3回以内
	ネキリベイト	株元散布 3 g/m ²		
ニンジン	ネキリエースK	土壌表面株元処理 3 kg/10a	収穫 14 日前まで	4回以内

- 休耕地または雑草地を耕起して植付ける場合や毎年被害を受けるほ場では発生が多くなるので、播種・定植（植付）時に土壌に殺虫剤を処理する。
- 農薬の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用方法・回数を遵守する。
- 薬剤は令和4年度福井県農作物病害虫防除指針を参照。

[農作物病害虫防除指針（福井県）印刷用、品目項目別ファイル | 福井県ホームページ \(fukui.lg.jp\)](#)

(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin-2.html>)

* 暑い時期であるので、熱中症には十分注意して作業を行う。

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室 連絡先 0776(54)5100

福井県病害虫防除室 🔍 検索

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>
QRコードをスキャンしてください →



農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう